

## (仮称)びわこボートレース場中期経営計画(案)について

### 1 策定趣旨

びわこボートレース場は、昭和27年7月の開設以来これまでに約935億円を一般会計へ繰出し、県民の社会福祉の増進、教育文化の発展、体育の振興等に寄与してきたところです。

しかし、売上げは平成2年度の約518億円をピークに減少に転じ、最近こそ回復の傾向がみられるものの、以前ほどの売上げが見込めなくなっています。

現在、単年度収支は黒字を継続し、一般会計への繰出しを確保しているところですが、平成44年度まで続く現スタンドの整備にかかる起債の償還、今後増大が予想される施設の維持管理費の負担増を考慮するとこれらの課題に計画的に対応する必要があります。

このため、中期的な方針、目標を明らかにし、びわこボートレース場の経営を継続的、安定的に行い、県財政への貢献という公営競技の使命を果たし続けるため、本計画を策定するものです。

### 2 策定方法

計画の内容の透明性、公正性を確保するとともに経営の効率化を図るため、外部の有識者からなる「びわこボートレース場中期経営計画検討会」を立ち上げ、これまで3回開催したところです。

#### ○びわこボートレース場中期経営計画検討委員会委員(敬称略)

淑徳大学 通信教育部 教授

公認会計士

一般財団法人BOATRACE振興会 施行者支援事業部長

一般財団法人日本モーターボート競走会 企画部次長

一般社団法人全国モーターボート競走施行者協議会 総務部長

滋賀県総務部事業課長

永江 総宜

疋田 久美

原田 正弘

水谷 剛

岡田 英典

河原田 智司

#### ○検討会開催実績

第1回検討会 平成26年6月30日開催

- ・計画の策定趣旨説明
- ・びわこボートレース場の概要説明
- ・意見聴取

第2回検討会 平成26年9月11日開催

- ・「びわこボートレース場中期経営計画(案)」説明
- ・質疑・意見聴取

第3回検討会 平成27年1月19日開催

- ・「びわこボートレース場中期経営計画(案)」説明
- ・質疑・意見聴取

### 3 計画期間

平成27年度から平成31年度までの5年間

#### 4 計画の内容

別添のとおり

#### 5 主な論点

##### ○びわこボートレース場の進む方向性

ボートレース場は全国で24場ありますが、その特徴によりボートレース場は次のとおり3つに分けられます。

- ・大都市に立地し、本場集客力が高く、本場の売上ならびに全体の売上規模も大きい都市型
- ・地方に立地し、本場の集客力に大きな期待はできないものの、全国のボートレースファンの舟券購入に狙いを定め、他場が行っていない日時にレースを開催し電話投票の売上げを伸ばそうとしている場
- ・地方に立地しながらも本場、電話投票の売上げ双方バランスよく狙いを定めている場

びわこボートレース場は現在、最後のバランス型のグループに属しますが、今後どの方向性を目指すのか、またその具体的な施策の内容について検討しています。

##### ○地方公営企業法の適用

地方公営企業法が全部適用されると、貸借対照表を作成することになり、競艇事業における資産および負債が明確になります。また、社会情勢・顧客ニーズに適応した機動性、迅速性が発揮でき、時々の経営戦略に即した経費が投入できます。

#### 6 今後のスケジュール

- 2月 びわこボートレース場中期経営計画完成
- 3月 総務・企業常任委員会に報告

# びわこボートレース場中期経営計画(案)

## 現状と課題

- 1 売上・来場者の減と発売形態の変化
  - ・売上はH2をピークに減少傾向
  - ・本場発売金額の減、電話投票・場間場外発売金額の増
- 2 一般会計繰出金の確保
  - ・近年5,000万円の繰出確保
- 3 公債費の増大と施設整備基金
  - ・平成44年まで償還、今後3年の償還が増大し、平成38年度にピーク
  - ・施設整備基金の残高は、約119万円
- 4 場間場外発売の制限
  - ・当場は254日が限度
- 5 組織体制と会計手法
  - ・収益事業における官庁会計の問題点、業界からの地方公営企業法適用への要望の対応

## 理念

ボートレース事業を通じ、県民や社会の発展に貢献します。

- ・ 一般会計繰出

## 目指すべき将来の姿

- 1 健全な経営の確保
  - ・経営資源を電話投票へシフト
  - ・本場はコンパクトな開催運営
- 2 質の高いサービスの提供
  - ・魅力的なボートレースの開催
  - ・十分な情報提供
  - ・ニーズにマッチしたファンサービス
- 3 組織の強化、人材育成
  - ・顧客ニーズの変化に対応できる組織体制
  - ・専門知識を有した職員の育成

## 方向性と重点プロジェクト

- 1 売上等の確保
  - ・電話投票の売上拡大
  - ・全国発売レースの誘致
  - ・本場の来場促進
  - ・場外発売日数の拡大
- 2 効率的な開催運営
  - ・専用外向発売所の整備
  - ・効率的な発売体制の構築
  - ・開催経費の削減
- 3 施設整備基金への積立
- 4 安全で快適な施設整備
  - ・現スタンド、施設の維持管理
  - ・安全で快適な空間の提供
- 5 地方公営企業法の適用
  - ・財政状況の明確化、財務分析、経営判断
  - ・人材育成と組織の強化

## 中期的目標

一般会計繰出金(5年間合計)  
300百万円